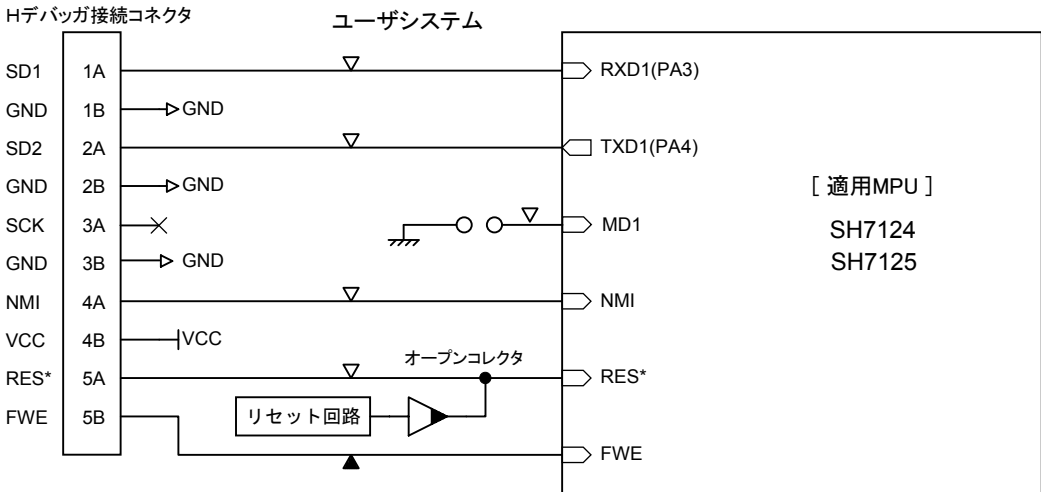


【接続例23】 SH712xの場合（ブート接続）



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です、▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K～22Kの範囲を推奨します。
- 2) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になるハードを設計して下さい。
- 3) CPU動作モード(ブート・実動作)設定回路は、ユーザ(ターゲット)側で用意して下さい。